

緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2022年11月11日 No.68

2022年 年末手当交渉 第3回交渉 論点

組合員・社員の声
が回答に
反映しているのか！

会社として最大限
出来る回答だ！

VS

主な組合の主張

主な会社の主張

黒字を達成した努力に
報いていない！



職場の努力は？	社員の皆さんが安全・安定輸送の確保とお客さまのご期待・ご要望にお応えした品質の高いサービスの実現に職場で取り組んでいただいたことによって黒字が確保出来た。回答書にも記載した。
物価上昇は？	物価上昇については新賃金で見えるものだが、昨今の情勢も踏まえて国際情勢を伴う物価上昇などの社会情勢を総合的に勘案して反映させた。
施策は？	職場改革、業務改革、働き方改革などの構造改革の着実な進展が、黒字決算の大きな要因になった。
人材流出は？	今後持続的な成長をして、会社の発展、そして社員還元していくことを今後鑑みたくて、今回回答としている。
コロナウイルス特別手当は？	コロナ禍における社員の尽力について、支給月数の幹の部分に想いを込めて判断した。



要求3.3ヶ月+5万円
再考するべきだ！

回答2.4ヶ月+2万円
最終回答だ！

黒字化を達成した職場の努力に報いていない。	会社として業績を客観的に見て、今後の持続的発展を果たしたい。
足元が好調で見通しが立っている事が考慮されてない。	第8波が始まりつつある。楽観視出来ない状況がある。
意図的に達成出来ない高い目標を立てて、社員に押し付け、期末手当を出し渋る理由にしていると思えない。	どのような目標を達成するかは客観的に判断されるもの。すべからず社員一丸となって達成していかなければならない。
会社が十分に社員還元を行わないのだから、そもそも循環にならない。社員還元をする好循環をつくる気はないのではないのか。	賃金だけではなく、勤務・福利厚生も含めて出来る限り最大限の処遇改善を行ってきた。
物価上昇分が含まれているということだが、物価上昇がなければもっと低いのか。物価上昇分はいくらなのか。	物価上昇がなければ、いくらということではなく、判断の1つの要素である。切り離して判断することではない。
2018年度の離職者数は267名、2021年度は597名。たった3年で若年退職が倍増しているのは異常。	回答書にもある通り、基本的に直近の業績を鑑みて、総合的に勘案していく。その中に、若手の離職対策も含まれる。
この回答で離職率が上がるのか。下がるのか。横ばいになるのか。	先のことは誰も分からない。社員が安心して働いていただくことが大事なので、会社として離職防止に努めていくことである。

声を「受け止めた」としながら出さない！職場の努力に報いない！
この経営姿勢に立ち向かう為、会社回答に全組合員が立ち向かおう！